

子ども館の全体図

国との連携事業

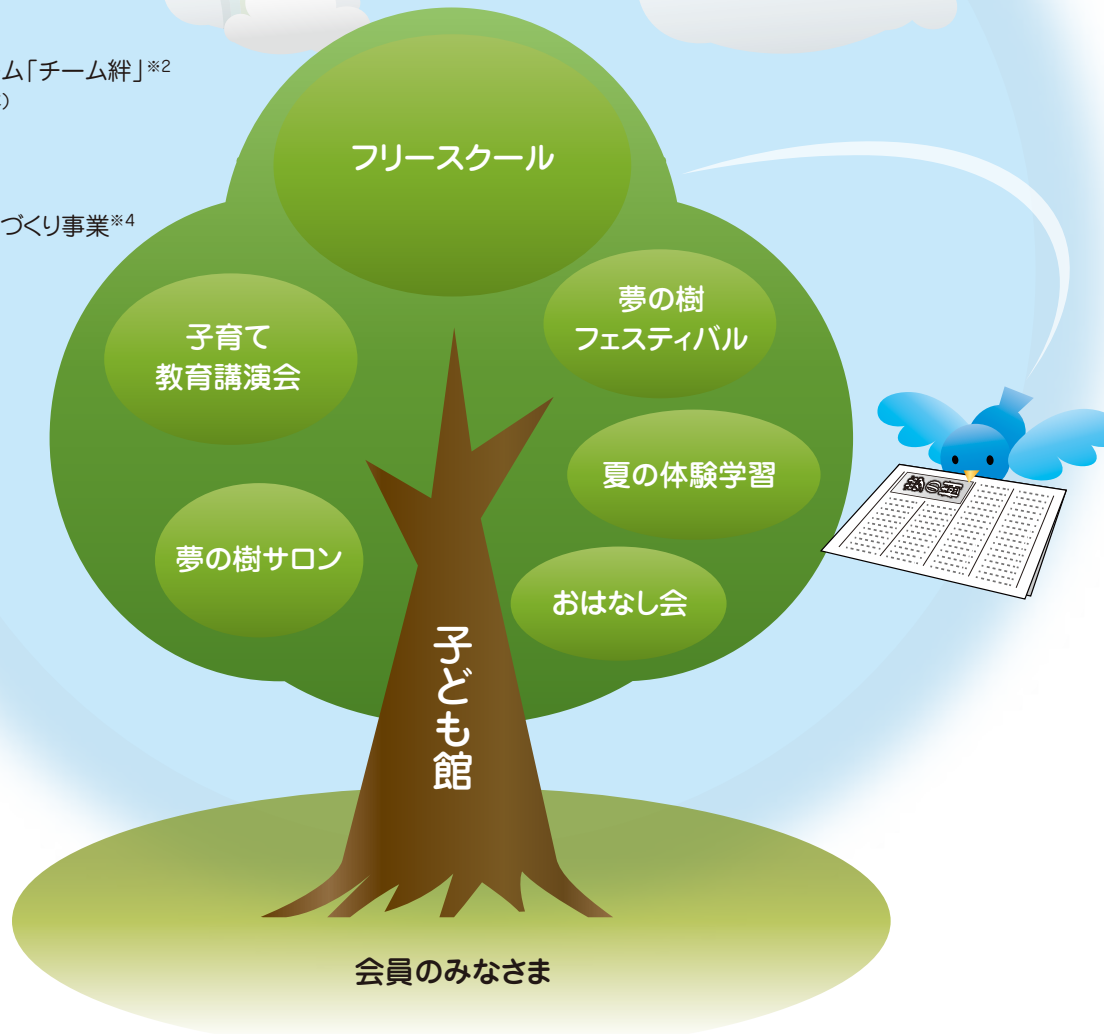
- 不登校への対応における
NPO等の活用に関する実践研究事業※5
2007年(平成19年)、2009年(平成21年)
- 独立行政法人福祉医療機構(WAM)助成
(社会福祉振興助成事業)※6
2008年(平成20年)
- 子どもゆめ基金助成※7
2002年(平成14年)～

応援団の皆さま
地域の皆さま

マスコミ

京都府との連携事業

- フリースクール連携推進事業※1
認定フリースクール
2006年(平成18年)～
- 初期型ひきこもり訪問応援チーム「チーム絆」※2
2009年(平成21年)～2011年(平成23年)
- 子どもの居場所づくり事業※3
2011年(平成23年)～
- ひとり親家庭のこどもの居場所づくり事業※4
2013年(平成25年)～



※1 フリースクール連携推進事業
(認定施設における学校との連携推進)〈京都府〉
京都府教育委員会からの「民間施設連携支援実践調査研究委託事業」。不登校児童生徒の学校復帰や進路希望の実現に向けて取り組むフリースクールとの連携を推進することで、不登校児童生徒の社会的自立を支援するもの。

※2 初期型ひきこもり訪問応援チーム「チーム絆」〈京都府〉
京都府青少年課委託事業。社会的ひきこもりの初期段階で訪問・相談を行い、長期化・深刻化を未然に防止し、ひきこもり初期段階の青少年の社会的自立を支援する。

※3 子どもの居場所づくり事業〈京都府〉
京都府福祉支援課委託事業。生活保護の被保護者である中学生等が、将来希望する職業等に就き自立した生活ができるよう、進路への課題を共に考え必要な助言をする機会を提供し、必要な生活能力や学力等の獲得を支援する。

※4 ひとり親家庭のこどもの居場所づくり事業〈京都府〉
平成25年度京都府子育て支援特別対策事業補助金。ひとり親家庭の悩みや不安を持つ子どもと親各々が週末や長期休暇期間中に気軽に交流できる「居場所」を提供することにより、子どもの心の安定や学習意欲の向上を図るとともに、保護者の子育てに対する悩み等の解消を図る。

※5 不登校への対応におけるNPO等の活用に関する実践研究事業〈文部科学省〉
不登校児童生徒等に多様な支援等を行うため、実績のあるNPO、民間施設、公的施設に対し、効果的な学習カリキュラム、活動プログラム等の開発を委託するとともに、新たに「あそび・非行」型の不登校児童生徒の立ち直りや学校復帰を支援するためのプログラムの開発を委託する。

※6 WAM助成社会福祉振興助成事業
(独立行政法人福祉医療機構)
国庫補助金を財源とし、子どもたちが健やかに安心して成長できるよう、NPOやボランティア団体などが行う創意工夫ある活動や地域に密着したきめ細かな活動を助成する。

※7 子どもゆめ基金〈文部科学省〉
国と民間が協力して子どもの体験・読書活動などを応援し、子どもの健全育成の手助けをする基金。